

問い合わせていく歩み

相馬 豊

それおもんみれば、人間にんげんは電光朝露でんこうちょうろのゆめまぼろしのあいだのたのしみぞかし。

（「御文」第一帖第十一通）

私たちは常に何かを頼りとして生きています。まず、自分自身を頼りにしています。そして仕事に従事している時は、仕事を頼りにしています。そして家族、友人を頼りにする。あるいは経済的なお金というものを頼りにする。しかし、この五つはみんな失つていくものです。仕事を従事していたとしても、定年退職を迎える、一線から身を引かなければならぬ。いたいた退職金を基にして、家族とおいしいものを食べに行こう、旅行に行こうと色々な形で使えば退職金もなくなっていきます。友人を頼りにして、その友人が病気で入院し、自分より早く亡くなつていくかもしれません。いつまでも家族と一緒にいたいと願つたとしても、自然災害や事件・事故に巻き込まれて、家族の一員が亡くなつていくかもしれません。そして最後に自分が残つたとしても、自分が自分を持て余す。そして、この自分も老いていのちを終えていかなければなりません。

蓮如上人が次のような御文を書かれていました。

私たちは、おぎやーとうぶ声をあげて、この年齢まで生きています。何とか無事にやり過ごしてきただけでしよう。この先、どうなるかは誰もわかりません。わかっているのは、必ず亡くなつていくということです。わずか百年足らずの年月、私たちは何をしてきたでしょうか。

私たちには自負心があります。これもしてきた、あれもしてきたという自分の価値観や経験値で人を分別し、傷つけ傷つけられたり、排除し排除されたりします。そして、私を認めてほしい、こんな辛い思いをしている私を慰めてほしいと願います。どこまでも、自分の都合、思いで生きてきたのが、帰敬式を受けるまでの私ではなかつたでしようか。

帰敬式を受けたということは、出発点に立つたということです。これが目標で

はありません。通過点です。大事なのは、今日はから、この瞬間からどう歩むかです。

私は私の人生をどう歩んでいくのか。そこに責任があるのです。

今まで世間の価値観や自分の経験値で批評して生きてきたけれども、今度は、人間のありよう、社会のありようを、教えを聞くものとしての眼で見ていく。その時、大事なことは何でしようか。

今、私たちの正面にはご本尊があります。ご本尊を前にした時、私たちは合掌の姿勢をとります。そこには、自分の都合や思いが入らないということです。手をあわせた人たちが一つの世界を願い続けるということです。合掌をといてしまつたら、それぞれの個人の世界、損得、勝ち負けという世界に戻ります。そして、自分や他者を傷つけ、傷つけあう。そういう世界に埋没する私たちが、「そうではないよ」というご本尊からの願いにハツとする。

あらためて手をあわせた時、静かに聞こえてくる声があるのです。

願以此功德 平等施一切

同發菩提心 往生安樂國

『真宗聖典 第二版 一五八頁』

平等施一切 同發菩提心とは、道を求める歩んでいこうという意味です。

『トムソーヤの冒険』の著者マーク・トウェインは人生には大切な日が二日あると教えてくれました。一つ目が「誕生日」です。今日皆さん、真宗門徒として歩みだす誕生日を迎えました。生前の誕生日と同時に、今度は自らが真宗門徒として生きる誕生日を迎えたのです。誕生には大きな意味があります。人と生まれたということです。

そして、マーク・トウェインはこう言います。「もう一つは、なぜ私が生まれたのかがわかった日」。これが人生の大重要な二つ目の日だといいます。「今日まで生き続けてきたけれど、私が人間として生まれてきたことがわかりました」「こういうお役目をいただきました」「こういう意味がありました」と、なぜ自分が生まれてきたかがわかった日はあつたでしょ

そのことをたずねていくのです。わからぬからわからぬままにするのではなく、わからぬからそれをたずねてい

く。それが法名の名告りの姿勢だと思します。私たちは生涯、その姿勢を歩み続けます。

答えが出ない旅かもしれません。しかし大事なことは問い合わせていく歩みでしようか。その出発点に今日皆さんが立たれた。私にとつてはうれしいことですが、一緒に悩み、一緒に聞いてくれる友ができた。一人ではないのだな。一緒に同じ志を持ち、「ああでもない、こうでもない」と考え、もがきながら、うろたえながら歩んでいく友ができた。これは私にとって最高のプレゼントです。

自分がなぜ生まれてきたのかをたずね続ける。私たちは、生活の場を通してそのことを伝えるという役割、使命があります。いただいた責任を果たしていくお一人お一人の姿が、次の世代に伝わっていくことでしょう。これから道のり、どうか大切に歩んでください。

以上

相馬 豊

一九五七年生まれ。金沢教区第四上組道因寺住職。修練道場長。